

## 第2章

# 高津区地域福祉計画

- 1 第6期計画の振り返り
- 2 第7期計画策定への視点
- 3 高津区が進める地域福祉計画
- 4 第7期計画における重点項目
- 5 具体的な取組
- 6 川崎市高津区社会福祉協議会の取組
- 7 計画の推進体制・進行管理



# 1 第6期計画の振り返り

第6期計画は新型コロナウイルス感染症の流行拡大と縮小が繰り返され、人と人との直接的な交流が制限を受けるといった状況下で取組が進められました。ほとんどの事業が従来のやり方では実施が困難となり、収束するまで休止としたものや、新しい手法に挑戦したものなど、様々な方法が模索された時期であったとも言えます。そのような背景を持つ第6期計画の取組を、基本目標ごとに振り返りました。

## 基本目標1 区民が主役の福祉の地域づくり

- 区民の健康づくりや見守りの役割を果たしている高津公園体操は、新たな体操グループの立ち上げ支援を行い実施数を増やすと共に、広報として高津公園体操マップの作成・配布、Jリーグ・川崎フロンターレのマスコットふろん太君とのコラボやFMのラジオ取材対応、PR動画作成を行いYoutubeにアップするなど幅広い世代に知ってもらう機会を作りました。
- 市民向け子育て支援講座として、親子の絆づくりプログラム「赤ちゃんがきた」、「はじめての子育て講座」、「0歳からの子育て」、「小学生の保護者のための子育て講座」、「あつまれ！キッズ」を開催しました。講座によっては開催手法としてオンラインを併用することで、外出が困難な家庭の相談を受けたり、実際の家庭内での保育状況が見られることでより実態に即した具体的なアドバイスをすることができました。
- 「65歳から始める～新たな趣味で充実ライフ」と題して、高齢者向けにトランプ、絵手紙、川柳、将棋の4つの趣味を体験することにより、趣味を通して地域で新たな出会いを得る楽しさを実感できる講座を実施しました。楽しい雰囲気の中、受講者同士の交流が進んでいる様子が見られました。

## 基本目標2 区民ニーズをふまえた福祉サービスの提供

- 地域の子育て支援のための情報提供として「ホッとこそだて・たかつ」を年間7,000部、地域子育て支援センター紹介のためのリーフレットを5,000部作成し、子育て支援事業実施時や関係機関で配布・配架しました。効果的な情報提供を行うため配架場所、配架機会の精査を行うなどし、子育て世代が必要とする情報をより手軽に得られる機会を提供しています。
- 「こんにちは赤ちゃん訪問員」「すくすく子育てボランティア」の養成、「健康づくりボランティア養成講座」や「認知症サポーター養成講座」等各種講座を実施することで、地域福祉の担い手の養成を行いました。
- 令和4年度に「地域包括ケアシステム講演会・交流会」を開催し、認知症をテーマに専門家や当事者同士で意見交換を行うことで認知症への理解を深め、よりよい生活や支え合いの地域づくりについて考える機会を提供しました。

### 基本目標3 支援を必要とする人が適切な支援につながる仕組みづくり

- 防犯に関する取組について、新型コロナウイルス感染症の影響に配慮しながら実施可能な範囲で地域パトロールを行ったほか、高津警察署地域課などが主催する各種防犯キャンペーンやイベントなどを連携・協力しながら実施し、地域の防犯意識向上に努めました。
- 避難所運営会議・訓練を区内の小学校等で実施したほか、自主防災組織に対し防災訓練への支援、防災資器材購入への補助を行い、災害発生時に地域で支え合う体制づくりを行いました。
- 高齢者や障害者、児童に対する虐待に関して、様々な課題や問題が重複して起こることが多いため関係機関との情報共有・連携を進め、適切な支援につなげました。

### 基本目標4 多様な主体の協働・連携による施策・活動の推進

- 住み慣れた場所での医療・介護体制を整えるために、高津区在宅療養推進協議会と連携し専門職向けの研修を行ったほか、市民向けに在宅医療、在宅療養について理解を深めるためのシンポジウムを開催し、参加者の在宅医療への理解を深めることができました。また、参加者からの質問に在宅医療にとって大きな役割を果たす専門職が回答することで、より効果的な啓発につなげることができました。
- 公立保育園が中心となり、園児の作品展を通じた他園の取組の共有、公立保育園のオンライン公開保育、若手保育士の交流会の開催などを通して区内全ての保育園の支援を行い、スキルアップの取組を推進しました。
- 地区社会福祉協議会と連携し、高齢者のミニデイケアや会食会等でのボランティア活動を支援することで、各地域の自助・互助の促進につなげました。

## 2 第7期計画策定への視点

高津区の特徴や課題、令和2年度高津区区民生活に関わるニーズ調査や第6回川崎市地域福祉実態調査(高津区版)の結果を踏まえながら第7期計画策定にあたり必要な視点について整理しました。

### 1. 働き盛り世代の健康づくり

2040年は働き盛り世代の40代後半～50代前半の方々が65歳前後に到達する年となります。今からこの世代に向けた健康づくりに関する取組を進め、健康寿命を少しでも伸ばせるようなセルフケア意識を持ってもらえるよう働きかけていく必要があります。令和2年度に実施した高津区区民生活に関わるニーズ調査では年代別・性別ごとの「仕事(家事)・睡眠・運動・食事・趣味」の優先順位の考え方が明らかになっています(→p.33～)が、これらの結果も踏まえ、40代、50代の区民に向けた効果的な取組を進めることが必要です。

### 2. コロナ禍を経て低下した地域への意識づくり

第6回川崎市地域福祉実態調査(高津区版)では、3年前の前回調査と比較し地域での交流は必要であるとする区民が増加した一方、地域で助け合うことを望む方が減少するという結果が出ました(→p.43)。「地域で問題だと感じていることはない」と答えた割合も増加し(→p.38)、地域のことに対して無関心な方が増えたことも今回の調査結果の特徴と言えます。「(フルタイム)就労しており地域への帰属意識が低く地域でつながりを持つ時間も機会もない」都市型の住民が多い高津区において、どうすれば地域のことに関心を持ってもらえるようになるか、地域活動等に継続的に参加してもらえるようになるか、区民と共に考えていく必要があります。

### 3. サービスが利用できない、結びつかない人への情報提供

第6回川崎市地域福祉実態調査(高津区版)に「ネットが普及しても本当に福祉を必要としている人は使えない。また外出も困難であるということを理解して、どこでどう福祉サービスに関する情報を知ってもらうのが一番効果があるのかを考える必要がある」という意見がありました。支援を必要としていても、自分では情報収集が難しい方々をどのように相談に結びつけ、支援へつなげていかも地域福祉に求められる大きな課題となっています。どのような形であればこのような方々へ効果的に情報を届けることができるか、届いた情報が自分に関わるものであると気づいてもらえるか、また支援を必要とする本人だけではなく周囲の人からも相談機関に情報提供してもらえるような方策も併せて考えていく必要があります。

## 3 高津区が進める地域福祉計画

### (1) 基本理念・基本目標

# つながり ひろがれ たかつ

～人と人がつながり 幸せの輪がひろがる 高津区をめざして～

令和元(2019)年末より始まった新型コロナウイルス感染症の流行は、交流機会の減少、地域活動の停滞などを生み、地域住民同士のつながりがより一層希薄化するなど、これまでも課題とされてきたことをさらに深刻化させました。今まで積み上げてきた様々な取組の中には、後退や停滞、中止となったものもあり、今、私たちは地域福祉の推進において大きな局面を迎えています。

第7期計画では、誰もが地域で気軽に交流し、困っていることがあれば気軽に手を差し伸べ合えるような支え合いの輪、幸せの輪がひろがる地域づくりをめざしていきます。

#### 基本目標1 区民が主役の地域づくり

区民一人ひとりが主役となって地域づくりができるように、活動を支えるための健康づくりやつながりの場づくり、担い手の養成や地域活動のための情報提供などの支援を行います。

#### 基本目標2 区民に寄り添った福祉サービスの提供

区民一人ひとりが必要な時に適切なサービスを受けられるように、様々な媒体を用いて情報提供を行うほか、支援を必要とする本人だけでなく周りの人の見守りと気づきが相談・支援機関へ結びつくような相談支援体制づくりに取り組みます。

#### 基本目標3 見守り・安心・安全が結びつく仕組みづくり

区民一人ひとりが日々の生活を安心して送れるように地域での見守り事業を展開するほか、地域住民と連携して防犯活動、防災活動を充実させ、安心・安全に生活するための取組を進めていきます。

#### 基本目標4 区民・地域団体・行政で支え合うネットワークづくり

地域福祉の担い手である区民、行政、地域で活動するグループ、事業者、企業などで地域の課題を共有し合い、解決に取り組んでいくための連携を強化します。高津区社会福祉協議会とは引き続き協働し、地域福祉の充実を図ります。

## (2) 計画の体系

基本理念

基本目標

基本方針

く人と人がつながり  
つながりひろがれたかつ  
幸せの輪がひろがる  
高津区をめざしてく

### 基本目標 1

区民が主役の  
地域づくり

重点項目

1 生涯を通じた  
健康づくりを進める

重点項目

2 つながるきっかけや  
居場所をつくる

3 地域活動を支援し  
担い手を広げる

4 地域情報の活用を  
進める

### 基本目標 2

区民に寄り添った  
福祉サービスの提供

重点項目

1 必要な情報を確実に  
届ける

2 相談しやすく支援を受け  
やすい仕組みをつくる

### 基本目標 3

見守り・安心・安全が  
結びつく仕組みづくり

1 地域で見守り、  
支え合う

2 誰もが安心して暮らせる  
まちをつくる

3 防犯・防災のまちづくり  
を進める

### 基本目標 4

区民・地域団体・行政  
で支え合うネットワ  
ークづくり

1 住み慣れた場所の福祉・  
医療体制を整える

2 区民・地域団体・行政が  
つながり協力する

### (3) 具体的な取組一覧

★ = 第7期計画で新たに  
掲載した取組事業

基本目標1 区民が主役の地域づくり			
基本方針	No.	取組	掲載 ページ
<b>重点項目</b> ①生涯を通じた 健康づくりを進める	1	若年世代からの健康づくりの推進	58
	2	食育講座の開催	58
	3	地域での各種出前講座の開催	58
	4	高津公園体操の推進	58
	5	介護予防活動の推進	58
<b>重点項目</b> ②つながるきっかけや 居場所をつくる	6	転入者に向けた子育て支援事業の提供	59
	7	保護者同士の交流の促進	59
	8	子育て支援講座の開催	59
	9	高津区子どもフェア等子どものための行事の開催	59
	10	親子運動会の開催の支援	60
	11	シニア世代等を対象とした事業の開催	60
	12	障害者の社会参加に関する学習機会の取組	60
	13	こころのバリアフリー事業の推進	60
	14	行事の開催を通じた交流や情報発信	60
	15	地域マネジメントの推進	61
	16	町内会・自治会活動の活性化の支援	61
	17	地域コミュニティ施策推進事業	61
③地域活動を支援し 担い手を広げる	18	子育てサロン、子育てグループ等への活動支援	61
	19	子育てグループ育成事業・支援事業の実施	61
	20	健康づくり活動グループへの支援	62
	21	地域の介護予防活動やミニデイ等への支援	62
	22	老人クラブ、友愛チーム等による地域活動への支援	62
	23	介護者家族会の運営支援	62
	24	市民活動支援ルームによる活動支援	62
	25	こんにちは赤ちゃん訪問員の養成と活動支援	62
	26	すくすく子育てボランティアの養成と活動支援	62
	27	健康づくりボランティアの養成と活動支援	62
	28	食生活改善推進員の養成と活動支援	62
	29	★配食等ボランティアへの活動支援	62
	30	認知症の普及啓発	63
	31	★公園等における愛護活動への支援	63
④地域情報の 活用を進める	32	ソーシャルデザインセンターの活性化に向けた取組	63
	33	地区カルテ等を活用いた地域ごとの情報の集約と見える化	63



基本目標2 区民に寄り添った福祉サービスの提供

基本方針	No.	取組	掲載ページ
重点項目 ①必要な情報を確実に届ける	34	高津区子育て情報ガイド「ホッとこそだて・たかつ」(冊子・ホームページ)による情報発信	64
	35	地域子育て支援事業の充実に向けた情報発信	64
	36	地域包括ケアシステムの構築に向けた情報提供	64
	37	★感染症・食中毒予防及び衛生的な住環境確保の啓発	64
②相談しやすく支援を受けやすい仕組みをつくる	38	乳幼児健康診査等における相談実施	64
	39	乳幼児のための各種相談事業の実施	65
	40	児童家庭相談の充実	65
	41	保育所入所に関する相談と支援	65
	42	地域包括支援センターでの相談支援	65
	43	障害者相談支援センターでの相談支援	65
	44	一般精神保健相談の実施	65
	45	市民の衛生的な住環境の相談・支援	65

基本目標3 見守り・安心・安全が結びつく仕組みづくり

基本方針	No.	取組	掲載ページ
①地域で見守り、支え合う	46	学習支援・居場所づくり事業	66
	47	認知症にやさしいまちづくりの推進	66
	48	見守りのネットワークの推進	66
	49	認知症等行方不明SOSネットワーク事業の推進	66
	50	ひとり暮らし等高齢者見守り事業の推進	66
②誰もが安心して暮らせるまちをつくる	51	成年後見制度への対応の実施	67
	52	高津区要保護児童対策地域協議会を通じた取組の推進	67
	53	高齢者・障害者虐待相談支援の実施	67
	54	多文化共生の推進	67
③防犯・防災のまちづくりを進める	55	★ペットの防災対策の推進	67
	56	高津安全・安心まちづくり支援事業の実施	67
	57	自主防災組織への支援	68
	58	要援護者対策に向けた町内会・自治会、自主防災組織、民生委員児童委員との連携強化	68

基本目標4 区民・地域団体・行政で支え合うネットワークづくり			
基本方針	No.	取組	掲載ページ
① 住み慣れた場所の福祉・医療体制を整える	59	高津区在宅療養推進協議会との連携	69
	60	在宅医療の普及・啓発	69
② 区民・地域団体・行政がつながり協力する	61	地域包括ケアシステム構築に向けたネットワーク会議の開催	69
	62	学校と民生委員児童委員との各種情報交換会への支援	69
	63	学校との連携による健康づくり事業の推進	69
	64	幼稚園・保育園・小学校の連携の推進	69
	65	公立保育所を拠点とした連携の推進(地域の子ども・子育て支援事業、民間保育所との連携・交流、人材育成)	70
	66	保育所等地域連絡会の実施	70
	67	地域の学校と連携した保育学生の育成	70
	68	高津区子ども・子育てネットワーク会議等の開催	70
	69	地域自立支援協議会の開催	70
	70	自助・互助の促進に向けた地域福祉活動の支援	㊤ 70
	71	多世代交流の推進	㊤ 70
72	精神保健福祉講座の開催	70	

※㊤・・・高津区社会福祉協議会と連携して進めていく取組

## 4 第7期計画における重点項目

第7期計画は新型コロナウイルス感染症の流行を経て変化した区民の地域福祉への意識と、2040年問題(少子化による急速な人口減少と高齢者人口がピークに達することで、日本が直面すると考えられている労働力不足、社会保障費の増大など様々な問題の総称)などこれから予想される社会情勢を踏まえ、第6期計画に引き続き次の3つを重点的に取り組んでいく項目としました。

### 重点項目1 生涯を通じた健康づくりを進める

団塊ジュニア世代とも呼ばれる働き盛りの40代後半～50代前半が65歳を迎える、もしくは近づいていく2040年に向けて、この世代の区民が生涯に渡って心身共に健康であり、日常生活を支障なく送るためには、今から健康づくりに意識を高めてもらうことが求められます。

第7期計画ではこの世代の区民を主なターゲットに健康づくりに関する積極的な情報提供を行うほか、食生活や介護予防に関する講座を開催します。併せて、若い世代に対する禁煙教育や健康相談、全世代を対象にした出前講座の開催、高津公園体操の推進など、様々な取組を通して生涯を通じた健康づくりを支援します。

### 重点項目2 つながるきっかけや居場所をつくる

コロナ禍において、人と人がつながる手段である「会う」「話す」「集う」機会が大きく制限されたことは、つながりの希薄化や地域への関心の低下など様々な問題をもたらしています。

高津区ではこれまでも様々な世代・立場の方が集い、交流できる取組を行ってきました。第7期計画でも子育て世代の転入者に対する交流の場の提供、両親学級・子育て支援講座を通じた保護者同士の交流の促進、シニア世代を対象とした講座の開催、親子運動会、どんなもんじままつりなど行事を通じた地域の交流の促進などを通じ、区民一人ひとりがつながる機会づくりや居場所づくり、地域活動の支援と情報発信を行っていきます。

### 重点項目3 必要な情報を確実に届ける

行政が提供する情報は広範な分野にわたり、情報発信手段も多岐に渡っています。その一方で、特に支援を必要とする人ほど自分での情報収集が困難で、相談・支援に結び付きにくいという実態もあります。また、コロナ禍の中、外出の機会が制限されたり、回覧板が中止となったりと、情報媒体によって、人によってより地域の情報が入手しづらくなったこともあります。

第7期計画では冊子、チラシ、インターネットやSNSなど様々な媒体を通して子育てや地域で行われている福祉活動、その他区が実施している保健・福祉事業に関する情報発信を行うとともに、必要な時に必要な情報にアクセスし、活用できる取組を進めていきます。